

平成 31年

4 月号

No.594

法音

今月の
ご法話

生かされていることに
感謝しましょう

日蓮宗
法音寺



知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音

平成三十一年四月号「594」

■目次■

【信仰の指針】 ^{いのち} 生命 人は生かされているのです	1
【朝のこない夜はない】	
生かされていることに感謝しましょう	
山首 鈴木正修	2

■ 積尊降誕会（花まつり）が厳修されます	15
■ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください	16
■ 御開山会のお知らせ	18
■ まんが・法華経七諭の話・長者窮子の譬え	19
■ 長者窮子の譬えについて	27
■ とこのはの記 生きたお題目	30
■ のりのね体験 いま・昔	34
■ 支院だより	38
■ 東京支院の節分会の様子が仏教タイムスに掲載されました	63
■ 福祉に生きる 高浜安立荘・いこいの宿高浜安立の実践	64
■ 日本福祉大学・高校での福祉の学びについてフォーラム開催	76
■ 賛助員ご芳名	78
■ 幸せの種まき／編集後記	80
■ 連載まんが・ひまわり・75 チームの一日	81
■ 書籍のご紹介	
■ 法音寺の社会福祉・教育事業	

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書

表紙写真・サクラ

掲載写真

表紙・信仰の指針・3

15頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

い
の
ち
生命 人は生かされているのです

日教五





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

生かされていることに

感謝しましょう

ある時、お釈迦さまの弟子のマールンクヤが、お釈迦さまに「この世界は有限ですか、それとも無限ですか」と質問しました。それに対してお釈迦さまは、有名な毒箭（矢）の譬え（※）をもって「答えの出ないことを考えても仕方がない。そんなことに時間を費やすより今をしっかり生きよ」と諭されました。

現代では宇宙が無限であることがわかってきています。私達が住んでいるのは銀河系宇宙です。銀河系宇宙は楕円形で、半径は十萬光年という距離です。想像もつかない長さですが、全宇宙ではその広大な銀河系が百億程も集まっ



ているそうです。それがいまだに加速度的に広がっているのです。その宇宙で確認されている中、一番美しい星は地球だそうです。宇宙飛行士達は口を揃えて「宇宙から見た地球は本当に美しい」と言います。なぜ地球が美しいかという、生き物が住んでいるからです。生き物には生命の発するオーラがあります。そのオーラが集まって、地球を美しく光り輝かせているのです。生き物の中で一番オーラの強いのが人間です。同じ人間でも、物事をプラスに考える人のオーラは弱くて暗いようです。かのマザー・テレサは人のオーラが見えたそうです。特に人がニコツと笑って「ありがとう」と言った時にオーラが強くなるのを感じたそうです。感謝をすると、生命力が強くなるということです。

地球上のどんな生き物にも天敵がありますが、人間には天



敵がいけません。ただ「人間の心の中に天敵がいる」と言っ
た人がいます。「貪・瞋・痴」です。つまり、貪り・怒り
・愚痴が人間の天敵だということです。戦争をして人間は
殺し合いをします。その時、心の中には「貪・瞋・痴」が
渦巻いています。この天敵「貪・瞋・痴」の真逆が「感謝」
です。

比叡山で千日の回峰行を続けて二度された酒井雄哉大阿
闍梨という方がおられました。あれ程の修行をされると本
当に人間の角がとれるものだと感じました。以前、テレビ
で拝見したのですが、良い意味で〓修行したぞ〓という雰
囲気が全くありませんでした。

酒井阿闍梨にある信者さんが「人間はなぜ生きるのでし
ょうか。つらいことばかりの人生に、ふと、〓生きていく
意味とは何なのか〓を考え込んでしまいます」という質問



をしました。それに対して酒井阿闍梨は「なぜ生きるのか」なんて考えてしまうのは、感謝する気持ちが足りないからだね」と言われました。「感謝する気持ちがあったら、なぜ生きるのかなんて考えないよ」ということなのです。

人間は誰もが、自分で生きているのではなく、生かされているのです。そして、生かされていることに感謝をする時、そこに報恩の気持ち芽生え、社会や人に対して、何かしなければ」という気持ちになり、人間は支え合って生きていけるのです。

私達が一番感謝すべきことは、生かされているということです。繰り返しますが、私達は生きているのではなく、生かされているのです。

すべての生き物が細胞からできていることがわかったのは1838年です。今から180年前、シュライデンと



シュワンという二人の学者が研究の成果を発表しました。これでいよいよ生命の不思議が解けると思った当時の生物学者達は狂喜しました。しかし、現代科学をもってしても、未だに一つの細胞も創り出すことができません。遺伝子研究の第一人者、村上和雄先生が「宇宙に細胞が一個偶然に生まれる確率は、毎回宝くじを買って一億円が百万回連続で当たると同じくらいのとんでもない希少さ」だと言われています。つまり細胞ができるのは奇跡、人間として生まれてくることはさらに奇跡の中の奇跡なのです。

人間には60兆個もの細胞があります。そして、それが調和をとっています。だから健康に生きることができるのですが、調和を保つのが感謝です。「貪・瞋・痴」によって調和が乱れると病気になるのです。

日蓮宗の尼僧さんで瀧本光静さんという方がおられます。



その方が講演で次のようなお話をしておられます。

ある女性のお話です。その女性は大きな交通事故にあつて右腕を切断するような大けがを負いました。お医者さんは「切断しなくてもいいが、完全に腱が切れているから腕は一生動きませんよ。動かない腕をぶら下げていると体に余計な負担がかかり、頭も痛くなります。それが我慢できるならそれでもいいですが、総合的に判断すると切断した方がいい」と言われました。

誰しも切断するのはいやです。一生懸命、左腕一本で生活できるように訓練しました。そして、いろいろなことが左腕だけでできるようになりました。字も書けるようになりました。体のたるさもどうか我慢できました。ところ、外出のとき運動靴を履くにも片手では紐を結べません。左腕一本ではむずかしいことが日常生活の中にいっぱいあ



りました。それでだんだん落ち込み、ついには引きこもりのような状態になってしまいました。外に出るのが嫌になつてしまったのです。しかし彼女は、本を読むのが好きで、家にこもつてずっと本を読んでいます。たまたま出会つた本に「この本を読んでいるあなたの体のどこかが痛かったり、悪かつたりしたら、それを恨むのではなく、そうではない場所に感謝をしてみてもどうでしょう」と書かれていました。そこで気が付きました。自分は車が大爆発するような大事故に遭つたのに、右腕が使えるようになるだけなんです。ありがたいなと思えたそうです。その次にこの本が読んでいるのは左手があるからだ。眼が大丈夫だったからだ。運動靴が履けないと嘆くのは、履ける足が残つているからだ」と、だんだん物事を前向きに感謝の目で見る事ができるようになったのです。それから毎晩、自分の体に手を当てながら御礼の言葉を言い続けたそうです。



「左腕さん、残つてくれてありがとう。南無妙法蓮華經。
心臓さん、止まらないでくれてありがとう。南無妙法蓮華
經」、右腕に向かつて「右腕さん、長い間私の人生を支
えてくれてありがとう。ゆっくり休んでね。南無妙法蓮華
經」と、動かない右腕をさすりながら言ったのです。その
うちに、動かないはずの右手の先が動き出したのです。そ
れから4年間リハビリに励みました。多少不自由があつて
も普通に動くようになりました。お医者さんがCTを見て
言われました。

「ああ、腱が枝分れましたね。太い腱が切れてしまつた
けれど、切れた所が枝分かれてつながり、動くようにな
つたんですよ」

実はその「若い女性」とは私のことです。事故を起こし
て心が折れそうになりましたが、そのことで「感謝」を思



い出して光を見つけました。感謝によって動かないはずの
右腕が動くようになりました。

こういうことがあるんですね。人と人は助け合うのと
よく言いますが、体の中も助け合うのです。脳は、脳の一
部分がダメになっても他の部分が助けて正常な働きがで
きるようになるということの本で読んだことがあります。ま
さにそれです。

感謝によって細胞が調和して、自然に腱がついたのです。
感謝は奇跡を起こします。

最近、NHKのあるドキュメンタリー番組を観ました。
その番組に桜井昌司さんという方が出ていました。

1967年、布川事件という強盗殺人事件がありました。
この時に冤罪で逮捕されたのが桜井昌司さんです。



桜井さんは高校を半年で中退し、職を転々とする無気力な青年でした。桜井さんがブラブラと、いい加減な生活を送っていた20歳の時に、強盗殺人事件の犯人にされてしまい、無期懲役囚になってしまったのです。仮釈放されたのが49歳の時です。29年間、冤罪で刑務所にいました。後に裁判が再開され、無罪が確定したのが、64歳の時です。それから日本全国を講演で巡っておられます。

当時のことを振り返り、「取り調べでは何を言っても信じてもらえなかった。面会に来た父親が新聞を持ってきてくれた。それを見てビックリした。新聞が嘘を書いている。しかしこれからの裁判で絶対に無実が証明されるはずだ」と信じていたが、判決は無期懲役だった」と言っておられます。

しかし、この裁判に疑問を持った人達が立ち上がり、冤罪を晴らすべく支援活動を始めました。最初、桜井さんは



「私のような人間を救うために、なぜ他人がこんなにも頑張ってくれるのだろう」と信じられませんでした。でも本当に幸せでした」と言われています。真暗闇に光を見つけたような気持ちだったと思います。

その時のことを獄中で詩にしています。

人間の真心を 真心からの愛を こんなにも味わえる
刑務所は 苦しさが喜びだ 生きる喜びだ

桜井さんは自分を支援してくれる人を通して、生きる喜びを、人の愛を知ったのです。

現在、古希を越えた桜井さんは講演会で「今、私自身、冤罪被害に遭ったことを幸せに感じている珍しいタイプの人間です。たぶんあのまま生きていたら、感謝を知らないつまらない人生で終わっていたと思います。冤罪被害に遭



ったお陰で、多くの人の支援を受け、感謝を知る人間になれたのです。本当にありがたいことです。誤認逮捕をした警察には、いつか感謝状を贈りたいと思います」と、明るくユーモアを交えて言われています。

感謝を知るといことは人生において本当に大事なことです。

※毒箭(矢)の譬え

「毒を塗った矢が飛んできて身体に刺さったとする。その時この矢はどこから飛んできたのか。この毒の種類は何か。誰によつて射られたのかを考える前にまずやることがある。それはすぐに矢を抜くことである」
お釈迦さまは、弟子にこの世界が有限か無限かを考えるよりも、今をしつかり生きることが大切であることを、この譬えを通して説かれました。



今月は全国の各支院・布教所にて
釈尊降誕会(花まつり)が厳修されます
お釈迦さまの誕生をお祝いし
正しく生きることをお誓いしましょう
法音寺本山では4月7日(日)に営まれます
ご家族お揃いでご参詣ください

◆今月の山首上人さまご親修日程

一宮支院	4月5日(金)	亀岡布教所	4月8日(月)
京都支院	4月9日(火)	西春支院	4月12日(金)
神戸支院	4月13日(土)	平賀支院	4月15日(月)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください。

支院名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・27日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	5日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ☎連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・14日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

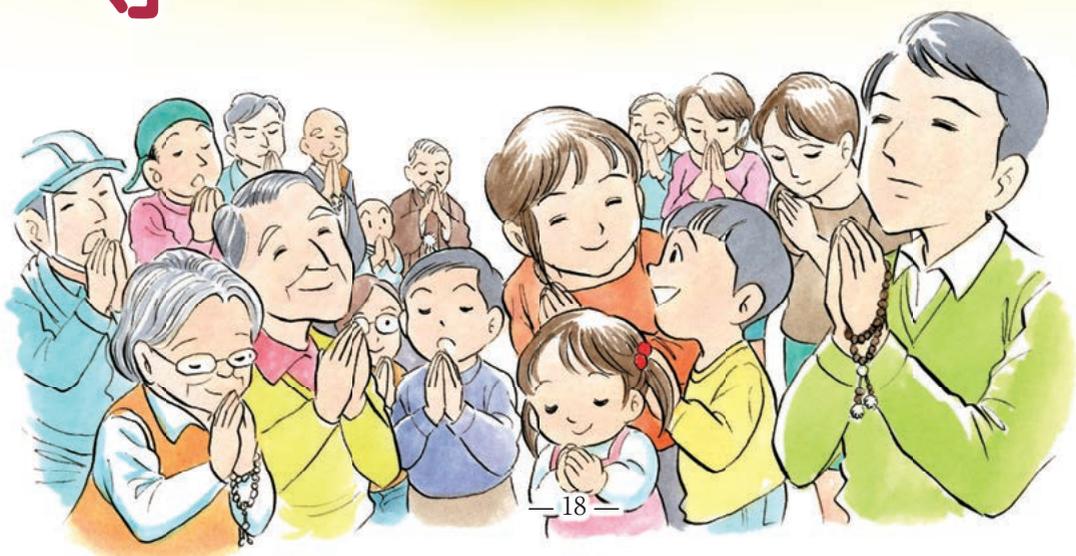
京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	6日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
福井布教所	20日	あわら市春宮3-28-2	☎(0776)73-5234
和泉支院	14日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(0724)66-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)42-0175
岡山支院	7日・9日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	7日・21日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	7日・14日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・15日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)44-5445
筑後布教所	14日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	7日・28日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	7日・17日・21日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※開始時刻等については、それぞれにお問い合わせください。(掲載順不同)

5月12日・19日・6月2日

御開山会

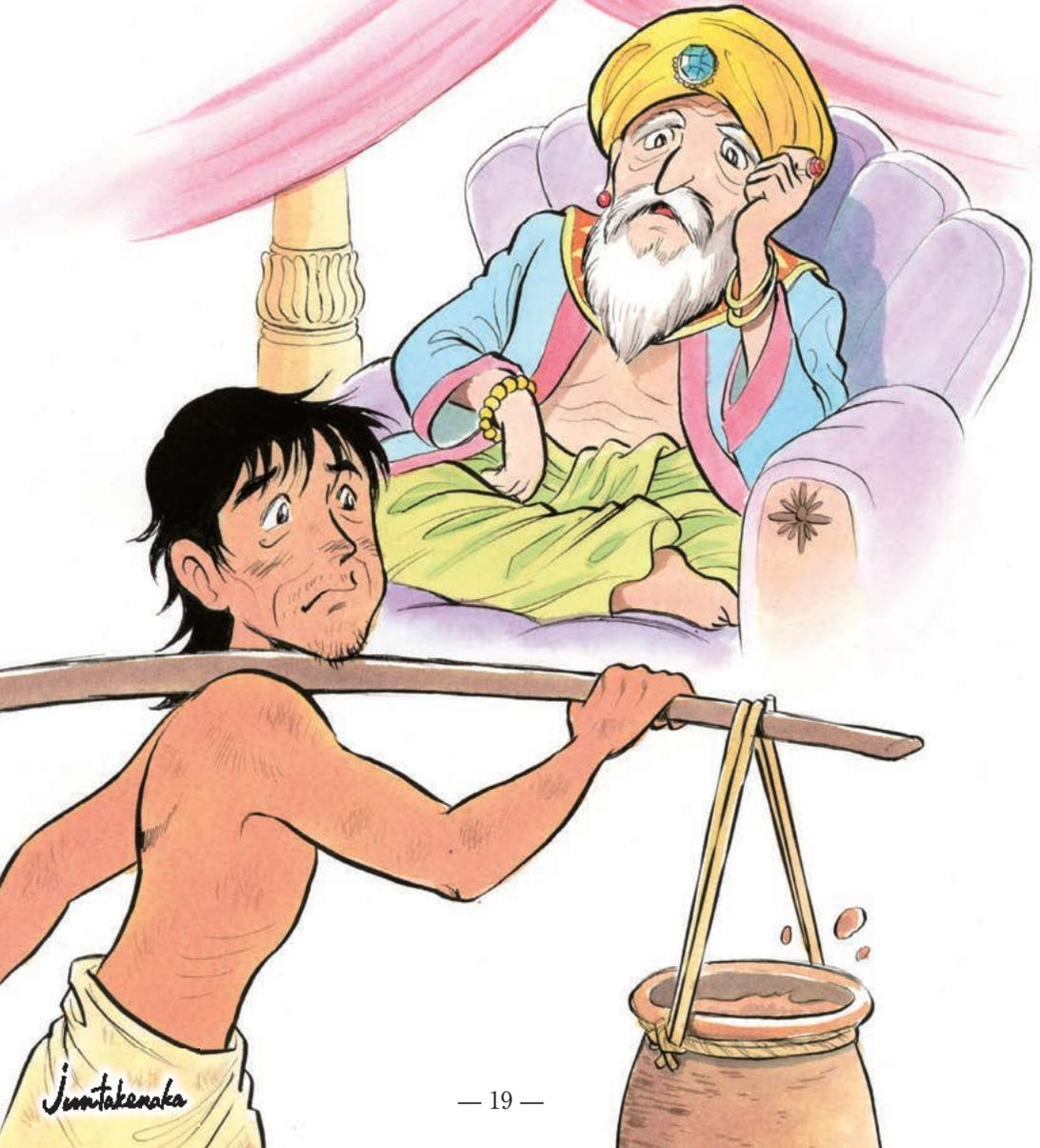
大乘山 法音寺



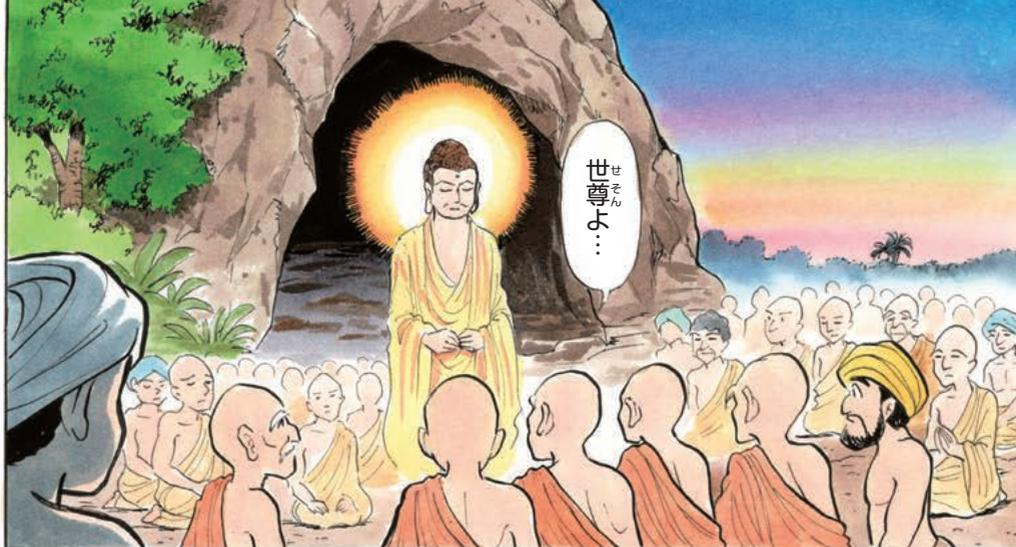
ほ け きょうしち ゆ はなし
法華経七諭の話

しん げ ほん だい
信解品第四

ち ょ う じ ゃ ぐ ろ じ た と
長者窮子の譬え



Juntakenaka



世尊よ…



私達は長い間
説法の座に連なり
声聞の教えを実践
してまいりました

自らの煩惱を
とりのぞくことで
すっかり苦から
逃れられたと思ひ
それで満足して
いました



もう
これ以上の悟りを
望む心が
生じなかつたのです

しかし
世尊のお話で声聞でも
この上ない悟りが
得られることを聞き
目が覚めました



この気持ちは
これからお話しする
譬え話の
息子の気持と
同じかと思えます

あるところに
諸大国の中でも
有数の長者がいました

しかし
その長者には
悩みがあったのです

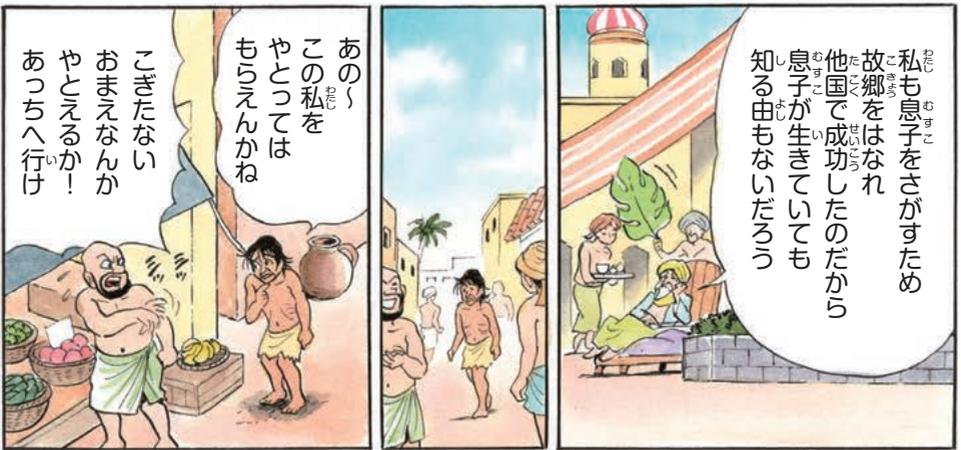


ああ…
わたしはこんなにも
老いてしまった
そして近い将来
命尽きるだろう

しかし
この莫大な財産を
継ぐものがない

息子は家を出ていって
数十年にもなる

今ごろどこで
どうしてある
だろう



私も息子をさがすため
故郷をはなれ
他国で成功したのだから
息子が生きていても
知る由もないだろう

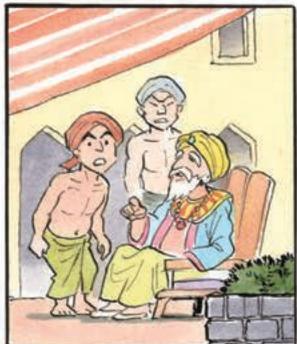
あの
この私を
やとっては
もらえんかね

こぎたくない
おまえなんか
やとえるか!
あっちへ行け



あゝあ
腹へったなあ

数十年前 父を捨て
家を出て放浪した
あげくこのざまだ…



長い貧乏生活に
心がすさみ卑屈に
なっていたのだらう

自分と息子の境遇の
差がこれだけあっては
今、親子と名のつても
うまくいかないな

もうおいら
放してやりなれ



だんな様
およびですか？

おまえ達に仕事をやるつ
先日、表で失神した男を
捜し出しておまえ達が
その男をやとえ

仕事は
肥くみだ
よいな

へえ

やってもいいけど
日当は前払いに
してくださいよ

だんな様
何を？…
ハハハ
これで私とは
わからんだらう

あゝあ
いやな仕事
だなあ

オレが賤しいから
こんな汚い仕事を
させられるん
だらうな

よく
働いているなあ
よし、私も
手伝おう
かしてみろ







そして長者の
死期が近づいた



そして時が過ぎ
男は大切な仕事も
立派にできるようにな
った



皆さん よく
聞いてください
あそこにいる男
実は私の子ども
なのです



どんな様
お呼び
ですか？

頼みがある
私はもつ長くない…
王や大臣ら
お招きしてくれ
あとの男もた



この私の息子は
怠ることなく
憎むことなく
恨むことなく
まじめに働く
男です



今 金銀財宝
穀物であふれた倉が
自分のものに
なってしまった

私はこれ程の
財産を欲しいなどと
考えていなかったのに…



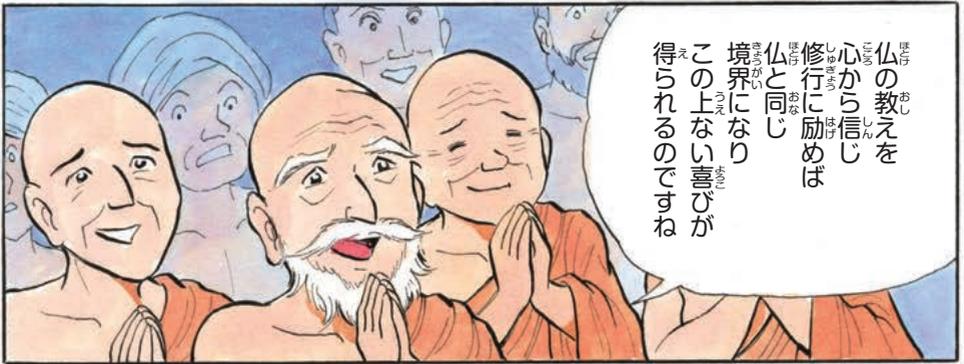
そして
私の子どもである
以上 財産・仕事は
この息子に
継がせませ
よろしく頼む…



世尊よ この話の
長者はまさに世尊
そして
数十年放浪した息子こそ
私達声聞の弟子であり

家の中は仏法
財産は限らない
仏の智慧です

そしてとうとう
世尊という父親に
導かれ 私達も
仏になれることを
知りました



仏の教えを
心から信じ
修行に励めば
仏と同じ
境界になり
この上ない喜びが
得られるのですね



うむ…まさに
皆 私と同じ
仏性を持っている

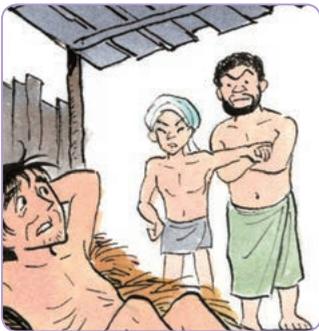
法華経の実践により
仏となれるのである

おわり

長者窮子の譬えについて

妙法蓮華經信解品第四に登場する「長者窮子の譬え」は、仏の教えを衆生（世の人々）に教える方法と、仏の教えを聞き、実行することで、最高の喜びが得られることを説明しています。

ある長者の子どもが家出し、他国を流浪して困窮したあげく、父の邸宅とは知らず門前にたどりつきます。父親は偶然見たその窮子が息子だと確信し、召使いに連れてくるよう命じますが、何も知らない息子は捕まえられないのが嫌で逃げてしまいます。長者は一計を案じ、召使いにみすぼらしい格好をさせ、「良い仕事があるから一緒にやらないか」と誘うよう命じ、ついに息子を邸宅に連れ戻します。そして息子を掃除夫として雇い、一番汚い仕事を任せます。長者自身も身なりを低くしてともに汗を流し、息子



も熱心に仕事をこなします。やがて時が経ち、臨終を前にした長者は、窮子に財産の管理を任せ、実の子であることを明かします。この物語は弟子の大迦葉が仏さまの説法を聞き、理解した内容を仏さまに確認するために述べたものです。

ここに登場する長者は仏さまであり、諸国を流浪した息子は衆生を指しています。人は人生の変化の中で、悩み苦しむ日々を重ねます。少しでも頼りになる教えに出会えれば、出会っただけで安心するものです。

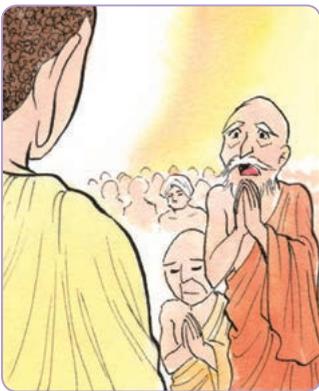
しかし、依然として徳にならないこと、不幸のもとである罪業ばかり作って苦勞しています。息子が一日の生活費を得て満足していたように、小乗の教えで満足していた人間の真の平和と満足を与えられることはありません。つまり、仏さまのお弟子になったというだけで満足するのではなく、世の中の迷い苦しむ人達を救う働きをしたら、もっともっと大きな喜びになり、高い悟りが得られるようになりますと教えられます。仏の教えを心から信じて修行に励んでいけば、必ず仏さまと同じ境界に達して、息子が最終的に自分でも想像がつかない程の宝を得たように、この上ない無量の喜び



が得られるのです。

もう一つ重要なことは、長者（仏さま）と息子（衆生）という関係から考えれば、人はみな仏性（仏になる素質）を持っているということです。この話の息子は家を飛び出して、自分に譲られるべき財産を知らずにいました。長者の子であることを知らなかったのと同様に、自分にも尊い仏の性質が具わっていることに気づかないのです。父親の尊い指導（教化）によって家の中を知り（仏法を知り）、一番重要な宝の倉をも管理するようになったということは、法華経の尊いことがわかり、そして実践することによって、ついに仏の境界に到達することができたということです。

私達も諸行無常という、この移り変わりやすい人生を経験して、実行を重ねながら、ついには永遠に変わらない教え（法華経）をしっかりととらえ、本当に意義のある生活をしたいものです。



とりのはの記

生きたお題目

すべての物には、それぞれの働きがあります。
日蓮聖人は次のように述べておられます。

火は物を焼き、

あるいは暗いところを照らすのが本来の働き。

水は穢れたものを清めるのが本来の働き。

風は塵を払い、

生きものや草木を育てるのが本来の働き。

大地は草木を生ずることが本来の働き。



天は物を潤すのが本来の働き。

「妙法蓮華経」の五字も同じように、

一切の人間を救い、仏にするのが本来の働き。

(生死一大事血脈鈔より)

「南無妙法蓮華経」と唱えることは、法華経を杖とし、柱として生きていきます」という誓いの表明です。

「お題目を唱えることは、なぜ大事なのでしょう？」

「お題目を唱えていると、そのお題目と心が自然に身に行いとなって現れるようになるからだよ。お題目を唱えるうちに、自分の本性である仏の性質が芽を出して成長してくるのだ」

「法華経は、諸経の王」と教えられていますが、なぜでし

南
無

妙
法
蓮
華
経



よ
うか？」

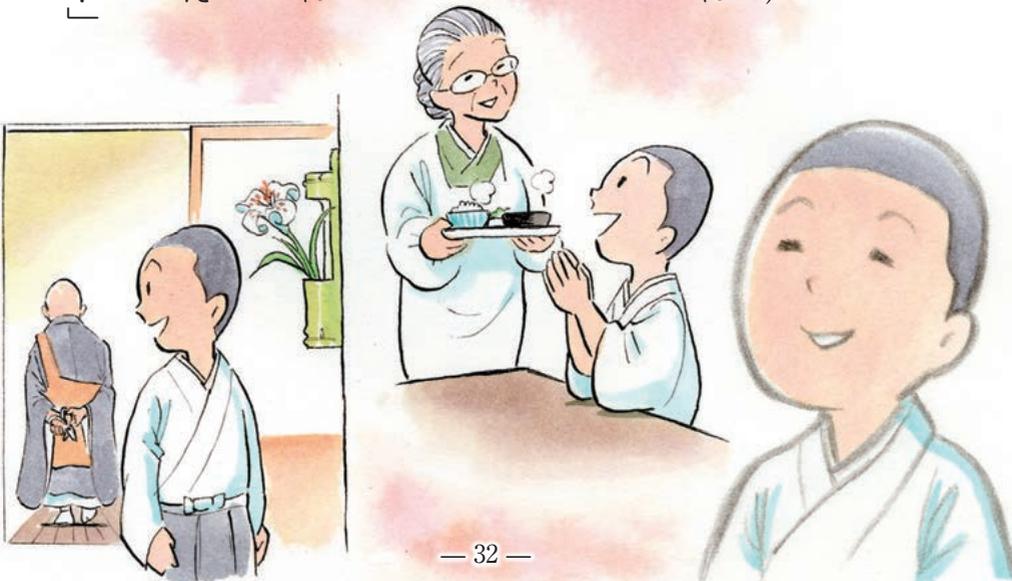
「法華経にはすべての人の成仏が説かれているからだよ。譬喩品の舍利弗に始まり、提婆達多品では、釈尊を殺そうとした大悪人・提婆達多の成仏と、以前は決して仏にならないと言われていた女性の成仏も保証されているからね」

「成仏するのはあの世に行ってからなのでは？」

「法華経は、生きている間の成仏が教えられているよ」
「どうということなのですか？」

「お金や地位による幸せはいつまでも続くものではない。つまり、私達が日常感じる幸せは変わりやすいものだけけれど、生きていく間の成仏とは、変わらない幸せ、つまり、いつも、ありがたい」という心が持てるということなのだ
よ」

「どのようにすれば、そういう心になれるのでしょうか？」



「お題目を唱え、慈悲・至誠・堪忍を実行していくと心が広くなり、何があっても、ありがたい」と思えるようになるのだ」

お釈迦さまは事あるごとに自分に敵対した提婆達多を「善知識」として喜ばれたと言われています。反対者となる人でも、自分を鍛えるありがたい先生、だと悟っていくこと。そうすると心の邪念は払われ、人を恨み憎み、腹立つことがなくなります。つまり、心が広くなると、今までは全く違う考え方になるのです。

私達も、唱えるお題目を生きたお題目にしたいものですね。



のりのね体験

いま・昔

大難が小難で

豊川支院 遠山 光江（平成10年）

私は、この御法にご縁をいただいて30年以上になります。

今までいろいろなことがありましたが、中でも主人の事故のことは忘れられません。主人が42歳の時でした。電気工事関係の仕事上、危険な所での作業が多く、その日も10メートル程の高さのところ仕事をしていました。下は工場のため一面コンクリートで、指程の太さの鉄の棒がそこから突き出し、まるで針山のようなのです。そこへ「ドタッ！」と落ちたのです。

いつもは高く危ないところでは腰に太い命綱をつけ、柱になる鉄骨に金具を取りつけて移動するのですが、その時に限って動きが少ないので金具を取り、すぐ横にあった木の細い板を持った途端、打ちつけてあった釘が抜けて、そのまま下へ転落したのです。でも、運よく鉄の棒と棒の間にすっぽりはまった格好で落ちたそうです。

頭からではなくお尻から落ちたのが幸いでした。ちょうどお尻の横の部分に差していた厚手のナイフが腰のクッションの代わりにもなってくれたのですが、しばらくその場所から動けなかったそうです。近くにいた人達が大騒ぎして寄ってきたため、自分で動けるのを確かめ、痛いのを我慢して歩き、

自分で車を運転して自宅に戻り、私の仕事場に電話してきました。

私はすぐに自宅に戻ったのですが、本人を見ても出血しているわけでもなく、顔色も悪くないので安心しました。でも痛がっていたため、とりあえず病院へ連れて行きました。

ところが、診察の際、服を脱がされると腕から腰にかけて血がべたべた。全身レントゲンを撮ってもらった結果、骨には異常なし。ナイフにカバーされたところは、深い擦り傷と打撲。右腕の関節のところを三針縫い、全身打撲であちこち真っ黒になっていました。ただ、命に別状はなく、入院もせずに済み、先生も驚いていました。簡単に曲がるようなものではない厚手のナイフが、への字に曲がっていて、本当にゾッとしました。

怪我はしましたが仕事をあまり休むことなく、会社の人達からは「悪運の強い奴」と言われたそうです。私もその時には気づきませんでした。落ち着いてから「あっ！」と思い、すぐに仏さまにお礼を申しました。「大難が小難に」というより、私達にしてみれば「無難」に近いことです。

日頃、先生のご指導を受け、先祖供養や無事故願いをさせていただいているお陰だと思いました。それまではただ、罪障を消滅できれば、という何か軽い気持ちでしたが、この時以来、常日頃の行いや、ご供養がいかに大切かをつくづく感じました。

主人はあまりご法話を聞く方ではありませんが、若い頃から人の悪口や愚痴を言うのを聞いたことがあります。なかなか怒らない人です。お話を聞いている私の方が反省することが山のようにあります。少しずつでもその山を削り、平らにしていきたいと思っています。

御法入信のご縁について

京都支院 富田 榮子（平成30年）

私の父は、代々続く念珠店を営んでおりました。法音寺が、まだ大乘仏教修養団の頃から、念珠を納めさせていただいておりましたが、仏縁にめぐまれず、仏さまのお許しをいただけなかったのか、いくらでも入信する機会があったにもかかわらず、入信できませんでした。

それではどのような縁で入信できたのかと申しますと、母が妹を出産する時、予定日を10日以上過ぎてても生まれず、両親はどうしたものかと思ひ悩んでおりましたところ、京都支院の先代の日喜上人が店にお出でくださり「長い間念珠を納めているのにまだ御法に入っていないのか。ありがたい御法やからすぐに入りなさい。早速明日、お寺に来なさい。ゆっくりと話をしなさい」とお話しくださいました。翌日父は、お寺に向き、お上人とお庫裡さまから「この御法はなかなか精神修養がむずかしいが一生懸命されたら良いですよ」とご教化いただき、入信することができました。

すると、妹はまるでその言葉を待っていたかのように、無事生まれましたと聞いています。しかも、それは奇しくも、泰山院日進上人の大荒行初行成満の次の日でした。名前も日進上人から頂戴し、深いご縁をいただくこととなりました。

その後、父は顎の骨を折る大怪我をしたり、心筋梗塞になったり、何度も生死をさまようような体験をしましたが、どんな時でも、仏さまを心から信じ、根気よく因縁消滅をさせていただき、功德を積んで助けていただきました。あの時、妹がすんなり予定日に生まれていたら、お上人からもすすめられず、父の罪障もとれていなかったと思います。ありがたいご縁をいただきました。「本当に入信

させていただいて良かった。この子は仏さまから授かった子や」と常々言っておりました。

その後、妹は3歳位までは、普通の子どもと同様に成長いたしました。ある日を境に、脊髄カリエスに侵され、身長も伸び切れず、腎臓、心臓、関節と病み、右眼はそれ以来ほとんど視力がありません。本当にいろんな病気が次々と妹を襲いましたが、両親は、その度にお参りさせていただきました。先代のお庫裡さまより厳しいご教化と、日々の心遣いの大切さを教えていただきました。「こんな病気になるのはどんな心遣いが悪かったのだろう。私は、あの時、一体何をしていたのだろう」と両親は、よく話し合っておりまして。私もよく、妹をおぶって、お寺にお参りさせていただいたことを思い出します。

病気になるのも怪我をするのも何一つ降って湧いたことなどなく、まげば生え まかねば生えぬ善悪の 人は知らねど種は正直ぐ という日進上人が教えてくださったお歌のとおりです。どんな困難もその因縁を知り、懺悔し、消滅すれば罪障もいずれ徳にかわる、というこのみ教えにご縁が結べたことを喜び、本当にたとえようもなくありがたいことと感謝して細く長く続けていけるようになりたいと思っております。行住座臥お題目を唱えて、普段から徳の貯金をし、罪障が出てきたら消滅をして、乗り越えていきたいと思えます。

両親が亡くなりもう何十年が経ちますが、御法一筋だった両親を見習い、日々感謝の気持ちをお忘れず、精進してまいります。



福祉に 生きる



社会福祉法人 昭徳会

高浜安立荘・いこいの宿高浜安立の実践

『日本の福祉を築いたお坊さん』に学ぶ。

鈴木修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために…

修学先生のレールの上を私らしく

高浜安立荘 看護師 杉浦 巳恵子

私が日本福祉大学の存在を知ったのは、高校二年生の時でした。進学先の希望の一つとしてパンフレットを取り寄せました。当時は人が人を手助けできる福祉社会はすばらしいと思い、福祉分野への進学を決心していました。それから約三十年を経て、高浜安立荘に籍を置くことになり、初心に戻らなければと考えさせられました。これも、めぐり合わせと思います。

修学先生が杉山辰子先生に初めて会った時、「あなたには、あなたでなければできない大切な役割があります」と言われました。これは修学先生に限らず、どの人にもあると思います。生がある限り、何かの意味

があるのです。そこで考えるのは、私の存在意義です。今まで生きてきた中で、たくさんの人と出会い、多くの経験をしてきました。その中で、私にしかできないことが必ずあるはずですよ。病院勤務や施設勤務とさまざまな業務の中で得た知識や経験、思いを少しでも周りの利用者の方やともに働くスタッフに幸せの種としてまいていけたらいいなと思います。そして、私もほかの方からいただいた幸せの種を枯らすことなく成長させていきたいと思っています。

幸せの種とは、修学先生がまいてくださった「慈悲・至誠・堪忍」の三徳であると思います。福祉を志し、その中で生きていく人は、すべて修学先生がまいた種をまた派生させているのではないのでしょうか。皆、思いは同じだと思います。思いを共有、共感し常にほかの人を思って行動しています。怒られることもあるのですが、仕事に従事している間は笑顔を絶やさず、周りの人が少しでも安楽になるよう心掛けようと、改めて思いました。

修学先生が説いたご法話の中に「信心はどこまでも人の心を立て直すものであり、人々を幸福に、世の中

を繁栄へと導くもの」とありました。自分中心ではなく真心で善いことをほめ、善行を育てれば他人のためとなり、自分のためとなり、喜びとなり、日常生活を楽しくし、人々に安心を与えることで日本の再建に取り組んでいく。この信念でできた日本福祉大学の取り組みは本当にすばらしいものだと思います。私は、日本福祉大学に在籍はしていませんでしたが、この本を読み、福祉に携わる一人として、修学先生が激動の中で敷いてくださった福祉のレールの上で、私らしく、私にしかできない大切な役割を全うしていこうと再確認することができました。

真心を施し、喜びとなる福祉に近づきたい

高浜安立荘 介護員 池畑 誠一

この本を読むまで、宗教家に対し、何か嘘くさく、信じてはいけないういもの、というイメージを抱いていました。しかし修学先生は実直で、前向きで、自分の信じる道をひたむきに進む、とても魅力的な方だと感じました。

まだ法整備される前から、ハンセン病の患者さんや、罪を犯した少年、虐待を受けた子ども、戦災孤児、知的障がい児などの介護・養護・教育に取り組み、さまざまな困難を経験してもあきらめずに前に進む、強い信念を持った方だと思いました。

この本を通じて感じたことは、修学先生は、法華經を通して、人と人とのつながりや、社会的幸福をみんなと共有しよう、という想いがあつたのではないかと思います。法華經には、他人を助ける心を育てることによって、心を豊かにし生活をも豊かにするという理にかなつた考え方があり、それをわかりやすく説いた修学先生のすばらしさが深く理解できました。「慈悲・至誠・堪忍」の三徳を教訓にして、他人の気持ちに心から寄り添い、誠実に人に優しく接し続ける心を持ち、腹を立てず、恨みや怒りを捨て、他人を許す広い心で自分から率先して行動すれば、他人に影響を与え、自然に世の中全体に正しい教えが広まっていく。それを信じ続け、実践していた修学先生は人格者であると感じました。修学先生のご法話の中に「自分を中心として貪れば、他人のためならず、自分のためなら

ず、悩みと苦しみを生み出します。それは良くないことだと悟り、心を改め、真心を施し、良いことをほめ、善行を育てれば、それは他人のためとなり、自分のためとなり、喜びとなる」という言葉がありました。修学先生しか言えない、とても説得力のある言葉だと思います。

私がこの本の中でもう一つ驚いたことは、一九五〇年代に北欧諸国で生まれた社会福祉をめぐる社会理念の考え方・ノーマライゼーションの思想が、「如我等無異」という法華經の教えの中に存在していたことです。この思想を八事少年寮で取り入れた修学先生の先見の明に、とても驚愕しました。

今回この本を読み、たくさんの発見や驚きがありました。修学先生のようになることは叶いませんが、少しでも近づけるように高齢者の方に笑顔と真心をもって接したいと思います。

堪忍と笑顔の大切さ

高浜安立荘 介護員 神谷 匡彦

鈴木修学先生は日本福祉大学を創った方であることは知っていましたが、詳しい生い立ちを今回初めて知ることができました。また私は日本福祉大学を卒業しているのです、どのようにして大学が設立されたのか、とても興味を持ちました。

この本の中で特に印象に残ったのが「慈悲・至誠・堪忍」の三徳に関する記述でした。文章のところどころにこの言葉が使われていたので、法華経の中でも大切な考え方の一つなのだと思います。中でも「堪忍」は日常生活の中で一番貫くのがむずかしい項目だと思います。慈悲や至誠の場合、相手の背景を知ることや、自分が何のために行動しているのかを明確に定めることで、おおよそ逸脱した行為をすることはありません。しかし、堪忍の場合は感情に左右されてしまうので、日々の状況によっては意志を貫くことがむずかしくなります。私の場合、特別養護老人ホームで働いているため、利用者の方に何度も同じことを聞かれた

り、徘徊行動を目撃すると、つい感情的になってしまふこともあります。本の中で、修学先生は保護している子どもにも手を焼いても、決してあきらめたり、怒ったりすることはありませんでした。私も堪忍の考え方をもち、相手が社会的弱者であることを忘れず、優しく接しようと改めて決意しました。

修学先生の「私の役割とは何なのか。幸せになれるのか」という問いに、杉山辰子先生は「幸せの種をまきなさい」とお答えになりました。不幸な人を手助けすることによって、自他ともに幸せになれる。この教えを根底に修学先生は、生涯さまざまな社会福祉の活動を展開し、多くの人を救われました。私はこの姿にとても驚き、感動しました。私も、何のために生まれてきたのか、どうすれば幸せになれるのかを考えたことはあります。しかし、導き出された答えに沿って、一生涯それを貫くことはとてもむずかしいことだとも感じました。私の場合、人を幸せにするのは笑顔だと考えています。堪忍にも似ていますが、怒りからは幸せが生まれてくることはありません。認知症高齢者の中には常に不安に悩まされている方もいます。そんな

方を少しでも笑顔にするためにはどうすればいいのか、常に考えながら接していきたいです。

日本全体が幸せになるため、不幸な人に手を差し伸べるため、お坊さんになり、質の高い福祉が広まるように日本福祉大学を創った修学先生を誇りに思います。

修学先生の教訓を心に刻みます

高浜安立荘 介護員 黒木 美千代

もしタイムマシーンがあれば、修学先生が生きた時代にタイムスリップして、法華経を学びながら、ともに苦勞や葛藤しながら生きてみたいと思いました。法華経を重んじ、「慈悲・至誠・堪忍」の教えを流布しながら、社会福祉に貢献してこられた歩みは、いばらの道だったことでしょう。

修学先生が成し遂げたことを行うには、まず法華経を理解する必要があると思います。本には「困っている人を助け、法華経を信仰する善人を作り、自分ができることで、立場を通し、仕事を通して、人の喜ぶことをして導くこと」とあります。

また、〃人に寄り添うこと〃の大切さを考えさせられました。修学先生が私財をなげうってハンセン病の患者さん達のために尽くされたことは、誰にでもできることではありません。昔、私はハンセン病の患者さんを見かけたことがあり、少し偏見をもってしまった記憶があります。今はそういう人達も偏見や差別なく、社会で生きていけるシステムがありますが、当時はそうでなかったのです。家族から縁を切られ、施設に隔離された時代です。そういう時代に修学先生は施設の運営をする中で次のような教訓を得たといえます。

一、「窮すれば通ず」という言葉がありますが、真心をもって社会事業をすれば、助けてくれる人がたくさんあるということ。事業は為せば成るものなこと。

二、社会事業の経営は、一方に収入の道を考え、生産の道を開いて、其の収入に比例して事業を行うことが堅実で有る。

三、世間の人々の理解と、大きい援助の基に事業を進めていくべきである。

修学先生が自らの体験で得た教訓を学び、心に刻ん

でおきたいと思えます。

〴〵に来て良かったと思ってもらえるように

高浜安立荘 介護員 新地 美希

この本を読み、改めて昭徳会の歴史を知りました。特に、修学先生の三つの教訓が心に残りました。

一、「窮すれば通ず」という言葉がありますが、真心をもって社会事業をすれば、助けてくれる人がたくさんあるということ。事業は為せば成るものだとということ。

二、社会事業の経営は、一方に収入の道を考え、生産の道を開いて、其の収入に比例して事業を行うことが堅実で有る。

三、世間の人々の理解と、大きい援助の基に事業を進めていくべきである。

生の松原というハンセン病療養所での過酷な日々を思うと、私なら挫折して、生きることさえあきらめていたかもしれません。

家族から縁を切られた患者さん達は費用が払えませ

ん。そのため、自分達の私財を売り、食料も畑を耕してやりくりするしかありません。

ハンセン病の患者さん達が、「どんたくを観に行きたい」と話した時、「あんたら、その格好で行くつもりか」と言ってしまったことを悔やんだ修学先生は金時計を売り、みつ夫人は晴れ着を売るなどして、患者さん達の服を買ったそうです。その行動力と心の広さに感動しました。患者さん達のためにここまでできるなんて……。きつと患者さん達からすれば、お二人は救世主のように見えたことでしょう。普通の人にできることではありません。しかし、修学先生とみつ夫人はやり遂げたのです。そしてその経験を次に生かそうという精神力を持っている。そんなすごい人が創立した昭徳会に私は就職しました。本当に良かったと思います。

私は介護員として、利用者の皆さん一人ひとりに向き合い、〴〵に来て良かった。楽しく過ごしてきました。〴〵と思ってもらえるように頑張ります。また、どんなに辛く苦しいことがあっても、すぐにあきらめず、初心を振り返り、何をすべきか考えて行動してい

きたいです。

相手の幸せを願いながら、自ら行動した修学先生

高浜安立荘 介護員 永井 里佳

この本には鈴木修学先生の一生が、実績とともに記されている。そして、人と関わる上で修学先生が大切にしてきたことについても書かれている。

特に印象に残ったのは、修学先生が人に対して何かを行う際に、必ず相手の存在を認め、その人の成長や幸せを願った上で、自ら率先して行動したという点である。半身不随の親戚を引き取り、日々看病にあたったこと。ハンセン病患者との接し方。寄付金の集め方。罪を犯した少年に対する指導法。育児院に保護された子ども達との接し方。相手に何かを伝えようとする場合、まずは自分がその行動をやってみせ、相手に考えさせる。「やってみせ、言ってみせ、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず」という山本

五十六の言葉を思い出す。また、この言葉のもとになった「してみせ、言ってみせ、させてみる」という上杉鷹山の歌にも通ずるものがあると思う。

今の時代を安寧に暮らしている私からすれば、当時の貧困や偏見・差別は想像がつかない程のものである。そんな中で、相手があるがままに認め、言葉だけで示すのではなく、相手の幸せを願いながら、自ら行動してその姿を見せる。この姿勢が人々の心をうち、修学先生に対して、心を開くことにつながっていったのだろう。これは修学先生が、知的障がい児の受け入れの際、「知的障がい児をありのままに受け入れること」「知的障がい児の成長を信頼すること」を基本方針としていたことからわかる。すべての子ども達も尊い命を有している。この考えには障がいのある子ども達だけでなく、障がい児の親達も救われたのではないだろうか。

「仏さまはすべての人を平等に仏にしたいと考えている」という法華経の精神のもと、人々と向き合い、人々の幸せを願い、人々に温かい支援の手を差し伸べる。確固とした考えを持っていたからこそ、時代に先駆け

た取り組みを行っていくことができたのだろう。

修学先生の言葉を意識して仕事に取り組みます

高浜安立荘 介護員 早川 なるみ

手足や顔が変形することから人々に恐れられたハンセン病。強い感染力があると考えられていた時代、みつ夫人は患者さん達に温かい治療を行い、修学先生は寄付を訴えてまわりました。その時の修学先生の言葉に感動しました。

「皆さん、ハンセン病の患者さんも同じ人間なのです。彼らの境遇へ思いを寄せていただきたいのです。誰も好きで病気になったわけではありません。この病気にかかると、肉親から縁を切られてしまいます。私どもの療養所に今、三十六人の患者がおります。そのうち一人の青年は二年前に発病しました。彼は『生きている間に母さんに逢いたい』『故郷に帰りたい』と毎日のように涙を流しています。私は、たとえわずかであっても、こういう人達の力になりたいのです。どうか皆さん、私に力を貸してください。気の毒な患者さん

に光を与えてください」

当時はハンセン病の施設で働いているというだけで、着物の袖で口を押えたり、イヤな顔をする人もいた時代です。それでも自分の身を削ってまで人のために、ここまで一生懸命になれる修学先生を本当に尊敬します。

「慈悲・至誠・堪忍」という精神を修学先生は「人に親切にしよう」「人を必ずほめよう」「何事も精一杯の力で取り組みよう」「今日一日だけは堪忍しよう」とわかりやすい言葉で教えてくださいます。仕事にあたる時も、この言葉を意識すると、より良いサービスの提供になっていくと思えました。

昭徳会の基本方針

- 一、ひとりひとりに思いやりの心を持って接します。
- 二、ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします。
- 三、ひとりひとりを大切に、まごころで接します。
- 四、私たちは、全ての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます。
- 五、私たちは、お互いに助け合い、よりよい生活が

できるよう努めます。

私は仕事をしていく上でこの基本方針を一番大切にしたいと思います。これからも利用者の方々に、より良いお手伝いやサポートができるように、どんどん取り組みを向上させたいです。

「三徳」を意識し、試練を経験や学びへと変えていきます

いこいの宿高浜安立 生活指導員 古山 悦与

日本福祉大学を創った鈴木修学先生の生い立ちから、福祉を行う心構えまで詳しく知ることができました。

修学先生は事業で成功し、世間的な成功や不自由ない暮らしができていましたが、若い時期に人生について深く考え、探求する精神はすばらしいと思いました。そこで自分に課せられた役割を見つけて邁進する姿勢に深く感銘を受けました。

その時期に、修学先生の近くにはお経に博学な叔父さんがいて、その叔父さんから杉山辰子先生の話聞いたことで、興味を抱き、会いに行くと決断したことなど、人生は偶然ではなく必然で動いているのではな

いかと感じました。

修学先生とみつ夫人が生の松原のハンセン病療養所の運営をしていた時に、修学先生がおっしゃった言葉が深く印象に残りました。

「法華経には正しい道を歩もうとする者は必ず試練に遭うことが記されている。杉山先生は我々に試練をお与えくださったのだ。この試練から逃げることはできない。杉山先生と法華経を信じて頑張ってみよう」

生きていく中でも、仕事の中でも、予想していないことが起こり、試練だと感じる場合があります。そのような試練を与えられた時は、

「慈悲」…人々の憂い、悲しみを自分のこととして受け止め、自らの喜びを他人に分け与えるやさしさの心を持つこと

「至誠」…間違った行いや悪い心を退け、世のため人のために自らを役立て、やさしさをたゆみなく持ち続ける心を持つこと

「堪忍」…腹を立てず、恨みや怒りを捨て去り、理不尽な出来事からも逃げ出さず、他人を許す広い心を持つこと

この救済会の精神的柱を意識し、試練を経験や学びへと変えていきたいと思えます。

福祉の仕事に就かせていただいていることを誇りに思い、今後も真心をもって社会事業に取り組み、善いことをほめ、日常生活を楽しく過ごし、人々に安心を感じてもらえるように仕事に取り組みます。

利用者の方ももちろん、ご家族の方、仕事を通じてつながりのある各事業所の方々、同じ職場で働く方々、周りにいる皆さまが幸せを感じながら過ごせるように人間力を高めていきたいと思えます。



.....
単独型ユニット型短期入所生活介護事業所
.....

.....
いこいの宿高浜安立

●愛知県高浜市芳川町3-1-6

●入所定員20名 ●職員 正職員8名、パート職員等5名

●生活指導員Ⅱ利用者に対して相談援助業務に従事します。社会福祉士の資格または社会福祉主事の任用資格が必要です。

.....
特別養護老人ホーム 高浜安立荘

●愛知県高浜市芳川町1-2-73

●入所定員120名 ●職員 正職員51名、パート職員等43名

●看護員Ⅱ入所者の健康管理、健康指導や健康相談、入退院や通院の援助、医師との連携を主に担当。看護師の資格が必要。

●介護員Ⅱ入所者の食事介助、排泄介助、入浴介助、移動介助、清潔・整容介助を主に担当。国家資格である介護福祉士の取得者が望ましいが、介護員として特に資格は必要としない。介護員として3年間の実務経験と実務者研修の修了で国家資格である介護福祉士の受験が可能となります。

.....
※本稿は平成30年7月にいただきました。(掲載順不同)

『日本の福祉を築いたお坊さん』 日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語

星野貞一郎著・中央法規出版・新書版・168頁・800円(税別) 本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

第11回 福祉実践発表会を開催



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会 ～基本理念『幸福』^{しあわせ}の実現に向けて日々の取り組みを発表～

平成31年2月23日に法音寺開山堂において、第11回福祉実践発表会を開催しました。日々取り組んでいる福祉活動の報告の場として毎年開催しています。今年も福祉に対する情熱や工夫を学ぶことができ、有意義な発表の場とすることができました。

各施設が発表した内容を審査して最優秀賞を1施設、優秀賞を2施設、特別賞を1施設それぞれ決定しました。外部審査員として、日本福祉大学から2名の先生をお招きし、審査にご協力をいただきました。また、日本福祉大学から2名の来賓をお招きし、職員105名、4月入職の新卒内定者16名も合わせて、総勢125名の参加者の中、保育・児童養護・障がい・高齢の分野から16施設が日々の取り組み内容を発表しました。

最優秀賞に輝いたのは天王保育園の「新たな10年へのスタート」全ての人の笑顔を守るために」です。保育する中で重要課題となる事故

防止について、現状の課題を把握するほか、過去のデータ分析をもとに研修を行い、マニュアルの周知徹底、ハザードマップの作成、応急処置講習まで実践していることが発表されました。またハザードマップを園内で掲示するほか、研修内容を地域や保護者に伝達し、周知の一助になっていることがわかりました。発表者の言葉にもありましたが、自らの経験から事故の再発を防ごうとする真剣な思いが伝わりました。

優秀賞に選ばれたのは、授産所高浜安立の「私の人生は私が選ぶより良く生きるための就労支援」です。障がいによって職業の選択が制限されることなく、ジョブコーチの協力を得ながら正規雇用まで結びついた過程が取り上げられました。ご利用者、ご家族の思いをくみ取り、ご利用者の自己決定を促すサポートがわかりました。

もう一つの優秀賞は、ケアハウス大阪安立の「アロマセラピーの可能性と認知症予防・心豊

かな生活が出来るように」です。アロマの香りに着目して、芳香することで得られる認知症予防、血圧安定、リラックス効果を検証しました。アロマセラピーの実施前後で検証作業を行い、実際に改善している部分があることがわかりました。またこの取り組みにより、さまざまな波及効果が得られたご利用者もいて、心豊かな生活を楽しみむきっかけになっていることもわかりました。

今回発表した内容は今後も継続して実施していくことで、ご利用者の幸福につながる取り組みに発展していくはずです。また、福祉実践発表会のために多忙な日々の中、各施設の職員が協力して取り組めたことは貴重な経験となります。福祉実践を継続していくことで職員個々の力や知識が研鑽され、より高度なサービスの提供につながる発表会となりました。

福祉セミナー実行委員長 特別養護老人ホーム高浜安立荘

グループリーダー（生活相談員） 朝岡 昌史

高校での福祉の学びについてフォーラム開催

日本福祉大学



写真提供・日本福祉大学

高校の福祉科や福祉コースなどで福祉教育に携わっている先生方と、本学教員・関係者が一堂に会し、高校での福祉教育の意義と課題について議論する「福祉教育研究フォーラム」を、2月9日（土）、東海キャンパスで開催しました。

東海3県を中心に、遠くは北海道や鹿児島など、全国から105名の参加者が集まりました。将来、高校福祉科の教員になりたいと、社会福祉学部で学ぶ学生達も参加しました。

平成18年度の第1回目より、高校での福祉教育の内容や、教授方法はどうあるべきか、また、高校と大学の連携によって、青年期の社会福祉の学びを、より豊かにしていくためにどうしていくべきかなど、ともに福祉教育に携わる高校と大学の交流・研修の場として回を重ねてきました。

平成30年3月に高等学校の学習指導要領が改定され、高校の教育現場は今、大きな移行期にあります。社会の構造が変化し、仕事そのものが大きく変わろうとしている中、福祉科の学びも「質的な向上」が求められています。

12回目となる今回はそういった変化をふまえて、『福祉教育の質的な向上をめざしてー豊かな教育内容をつくる』を全体テーマに掲げ、分科会・

シンポジウム・総括講演会を行いました。

「進路指導を通じて福祉の魅力をどのように伝えるのか」をテーマにした分科会では、介護職をはじめ福祉関係の人材確保がますます厳しくなっている中で、送り出す高校側と受け入れる社会福祉法人側が、進路指導の中でどう連携していくのが話し合われました。高校の進路指導の実践報告に続き、社会福祉法人側として、昭徳会の制野司人事部長に、採用段階と採用後の育成の取り組みをご報告いただきました。額純純司人事課長にもご同席いただき、高校の先生方と、求める人材像や、人材をどう大切に育てていくかなど活発な議論が交わされました。

シンポジウムでは、本学の3名の教員より『介護ロボット・ICTテクノロジーの今（健康科学部教授・渡辺崇史）』『災害ソーシャルワーク（全学教育センター助教



・佐藤大介）』『0歳から1

00歳までの地域包括ケア（社会福祉学部教授・原田正樹）』について報告がなされ、

大きく変わろうとしている今日の福祉の現状を、生徒達にどう伝えていくのかという視点に立って、質疑応答がされ

ました。

最後は、文部科学省初等中等教育局の矢幅清司氏による総括講演が行われました。人口減少、グローバル化、急速な技術革新の進展、「人生百年」といわれる長寿化が進む中で、これから社会の担い手になっていく子ども達に必要な能力と、学びのスタイルが大きく変わろうとしていることについて、詳細なデータに基づいてご紹介いただきました。

新しい時代に必要となる資質・能力として、新しい学習指導要領では『学びを人生や社会に生かそうとする』学びに向かう力・人間性等の涵養』『生きて働く知識・技能の習得』『未知の状況に対応できる』思考力・判断力・表現力の育成』の3つを提示。それに伴い学び方も、一方的に教わる受け身の教育ではなく、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習への転換が求められており、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点での授業改善が求められていることなど、お話しいただきました。

高校教育と大学教育の連携がますます重要視されている中で、「ふくしの総合大学」として今後もこのセミナーを通じて、福祉教育の発展に寄与していきたいと考えています。

社会福祉学部准教授 小林 洋司



幸せの種まき 感謝と親切

人を元気づけ

喜ばせる言葉を使いましょう

三徳の実践を続けていくと、
話す言葉は、聞いた人がみな喜ぶようになり、
人の悪口などは言わなくなりませす。

大乗山 法音寺



編集後記

この表現は本来の解釈に沿っているのだろうか？
この言葉にはどの漢字が適切なのだろうか？

月刊『法音』を編集する段階で、確認のためこれまで法音寺が出版してきたさまざまな本を調べます。時には本を山積みにして何日もかけて確認作業をすることもあります。中には古い本もあって、それを手にすると、当時にタイムスリップするような感覚になります。一度もお目にかかったことはないのに、先師の方々の声が聞こえてくるだけでなく、言葉の熱量も感じ取ります。本の中には、節目の年に記念発行されたものがあって、この時代の信者さん達は、本を手にして、どんなに感動したことだろうか？と、感慨深い思いになります。

時代が流れると、当時いただいた本は書棚の片隅に眠ってしまい、その後お寺にご縁ができた方は、その本の存在すら知らない。それぞれの本には、その時代に法音寺の先師が紡いだ「智慧」が結集しているのに。何ともつたいないことでしょうか。ぜひ、法音寺の本を書棚から出して読み直してみませんか？そして、良いと思ったら、新しい方々にも勧めましょう。法音寺三徳を伝えることは「法施」、それによって相手の方に喜びを得ていただくのは「無畏施」となり、立派な徳積みではないでしょうか。

チームの一員

竹中 淳





九番 ショート
小森 以上

最後まで
ボクの名は
呼ばれなかった

ハイ!



八番 ライト

林

五番 サード
高木
はい!



どうして
なんだ…



替わりに
入ったのは
三年の小森
下級生だ



ボクはスタメンを
はずれた



そうか…
そうだったのか…



どうかな
小森も三年だけど
うまいからな

なあ
小森は監督の
子どもだからつても
あるんだろ?

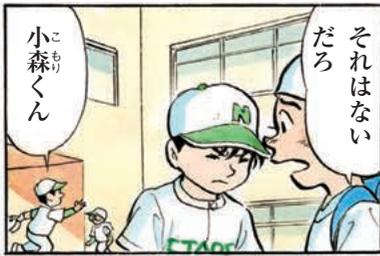


アイツよりボク
ヘタじゃないだろ?
おかしいよな

タケル なぜ
ボクじゃなく三年の
小森なんだ!



蓮
残念だったな
でも代打も
あるからな



小森くん

それはない
だろ



小森は監督の
子どもだから
レギュラーに
なれたんだろ
そうに
決まってる！

それは監督が
決めたことだし
：



いいかい
今日も…

アキラ
さん
なに？



蓮！
いいかげんに
しろよ



アキラのやつ…
小森と仲良くして
レギュラーにして
もらおうって
思ってるんだ
きつと…



あ



待てよ！

ほつといてよ
帰る！



今日の
おまえ
おかしいゾ

これ以上
つまんねえこと
いうと
ぶんなぐるゾ



そう
そう

こう…



もつと腰を
落して
からだの
センターで…



あの二人
何してんだ

もうとつくに
練習は
終わったのに



アキラさん
いい感じ
です!



じゃ
ノックするよ
おう



小森
下級生だぞ
いいのか?



小森くん
キミは三年なのに
守備うまいね
どんな練習
してんの?
教えてよ



アキラが
小森に
教えて
くれたって
頼んだんだよ



下級生に
教えてもらって
まで?
チームの役に
立てるんだったら
なんでもするって
いった:
すごいな
アキラ:



関係ないよ
ボク
野球うまくなって
チームの役に
立ちたいだけなんだ

試合当日
しあいどうじつ

この日のタケルは
力みすぎていた
この日のタケルは
力みすぎていた



フオア
ボール



デッドボール



やはり強豪と
いわれるだけ
あって



ポクらのチームは
手も足も
出なかった

北部	1	2	3	4	5
ウルブス	7	3	5		
NAGARA					
スラズ	0	0			

すまん

ドンマイ
ドンマイ!
おしかったヨ





何が
ドンマイだよ、
こんな大差で
負けてるのに



よく
ボールを
見ていこう



だれだ？^{ひとり}
バカでかい声を
上げているヤツは…



いいスイングだ
その調子だ！

使用
必ずきれいに
整備する



しっかり
ミートして
いこう！



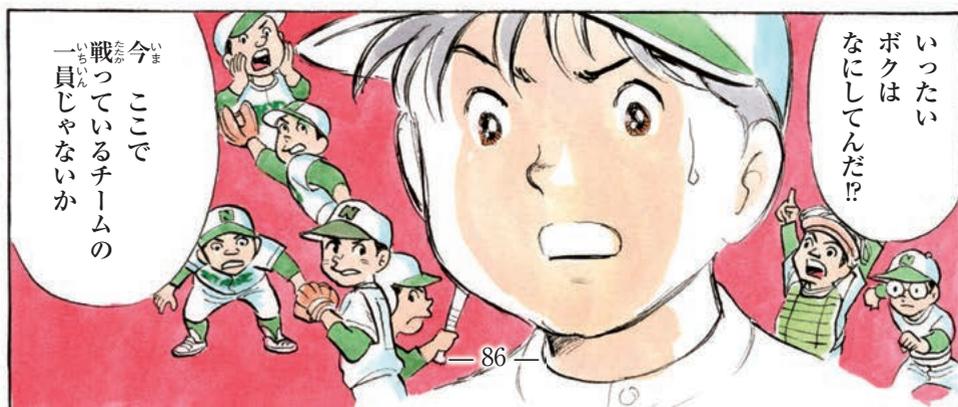
アキラ！



よく
見て
しっかり
たたけ！



チームの
役に立てる
んだったら
なんでもするって
アキラ
いったた

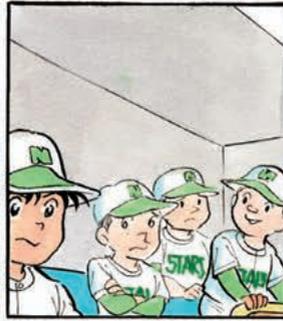


いったい
ボクは
なにしてんだ!?

いま
ここで
戦っているチームの
一員じゃないか



しまつて
いこうぜ!



まだイニングは
あるよ!
アウト一つずつ
とつていこう!



ベンチのボクらも
最後まで一緒に
声援送って
戦うゾ!!

グラウンドの
選手は
今すぐ
強いチームと
戦つてる!



みんな
ちよつと



おー
おー

よーし
オレ達も
もう一度
気合入れ
直そうぜ





みんな
ちよつと
いい？



さあ！
まず一
点と
りに
行く
ゾ！



ストライク
バッターアウト
やったー
この回0点に
おさえた！



アキラさんの
ファインプレー
ですよ これ！

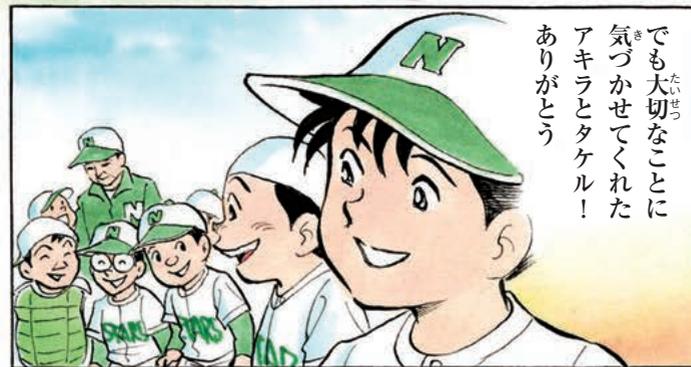
やったあー
ウルブスから
一点とったあ



あのピッチャー
初球は必ず直球で
ストライクとりに
来るんだ
ボールに
なったら
次も直球なんだ
だから…

	1	2	3	4	5	計		
北都 ウルブス	7	3	5	2	0	17		
NAGARA スターズ	0	0	0	0	1	1		

待望の
一点はとった
ものの
相手は
強豪チーム
五回コールド
負けだった



でも大切なことに
気づかせてくれた
アキラとタケル！
ありがとう



ゲームセット
ありがとう
ございました

おしまい

書籍のご紹介

法音寺を
知りたい方へ



戦後、法音寺を開山した鈴木修学上人は、仏教の教えを漫画で伝えようと多くの仏教漫画を作りました。当時の仏教界では革命的な取り組みでした。現在、全国の日蓮宗寺院で法音寺の仏教漫画が販売されています。

■まんが

『法音寺物語上・中・下』

法音寺広報委員会 企画

中央法規出版刊

B5版 平均九六頁総カラゝ

定価各巻一、〇〇〇円(税別)

法音寺の教えを
学びたい方へ



現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三四五頁

定価一、〇〇〇円(税込)



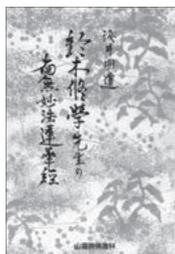
続現代生活の指針

鈴木修学著

四六判/三五二頁

定価一、〇〇〇円(税込)

仏教を
学びたい方へ



鈴木修学先生の
南無妙法蓮華経

浅井圓道著

山喜房佛書林刊

四六判/二百二頁

定価一、八一四円(税込)



妙法蓮華経略義

鈴木修学著

青山書院刊

A5版/八六三頁

定価六、〇〇〇円(税込)

福祉を
学びたい方へ



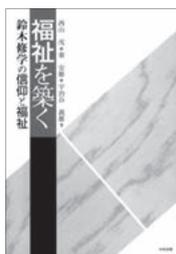
日本の福祉を築いた
お坊さん

星野貞一郎著

中央法規出版刊

A6版/一六八頁

定価八六四円(税込)



福祉を築く

西山茂・秦安雄／
宇治谷義雄著

中央法規出版刊

A5版/二二三頁

定価三、六二八円(税込)



知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市長和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式 **facebook** で

毎朝7時『一日一言』配信中!!

こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日**法音寺メールマガジン**配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォーム
をご覧いただけます。



YouTube にて**法音寺チャンネル**開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 軽費老人ホーム
- 養護老人ホーム
- 自立援助ホーム
- 保育所

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
https://www.syoutokukai.or.jp



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
http://www.n-fukushi.ac.jp

